

4．身近な水環境の全国一斉調査

(1) 調査の概要

河川や水辺など身近な水環境の保全や再生に関する市民の意識が高まる中、1980年代半ばから、市民や学校の子供たちによる身近な川の一斉調査が多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきた。

国土交通省では、平成16年から、市民団体等と連携して全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、「全国水環境マップ」としてとりまとめた結果を公表している。

平成26年の調査の概要は以下のとおりである。

表-44 身近な水環境の全国一斉調査の概要

	全国統一日に 実施された調査	国内で実施された 全ての調査	備考
調査日	平成26年6月8日(日)	平成26年5月3日 ～7月26日	-
参加団体数	334団体 (個人参加含む)	792団体	平成25年は 865団体
調査地点数	1,664地点	5,544地点	平成25年は 5,421地点

(2) 調査のまとめ

傾向としては、都市河川で調査が実施されることが多いが、全体の35%の地点において、COD値が0～3mg/未満という結果になっている。

また、本調査では、水質調査の結果と併せて、調査時に市民が観察した河川や水辺の様子や過去と比べての変化についても情報の蓄積を行っている。平成26年の調査においては、東日本で当日の大雨の影響により、調査を中止にせざるを得ない団体が多数出ることとなった。大雨後に下水処理水が6～7割流入していた都市河川では「今まで見られなかった水質のきれいさに驚いた」というコメントもあった。

平成26年の全国水環境マップを図-54に示す。

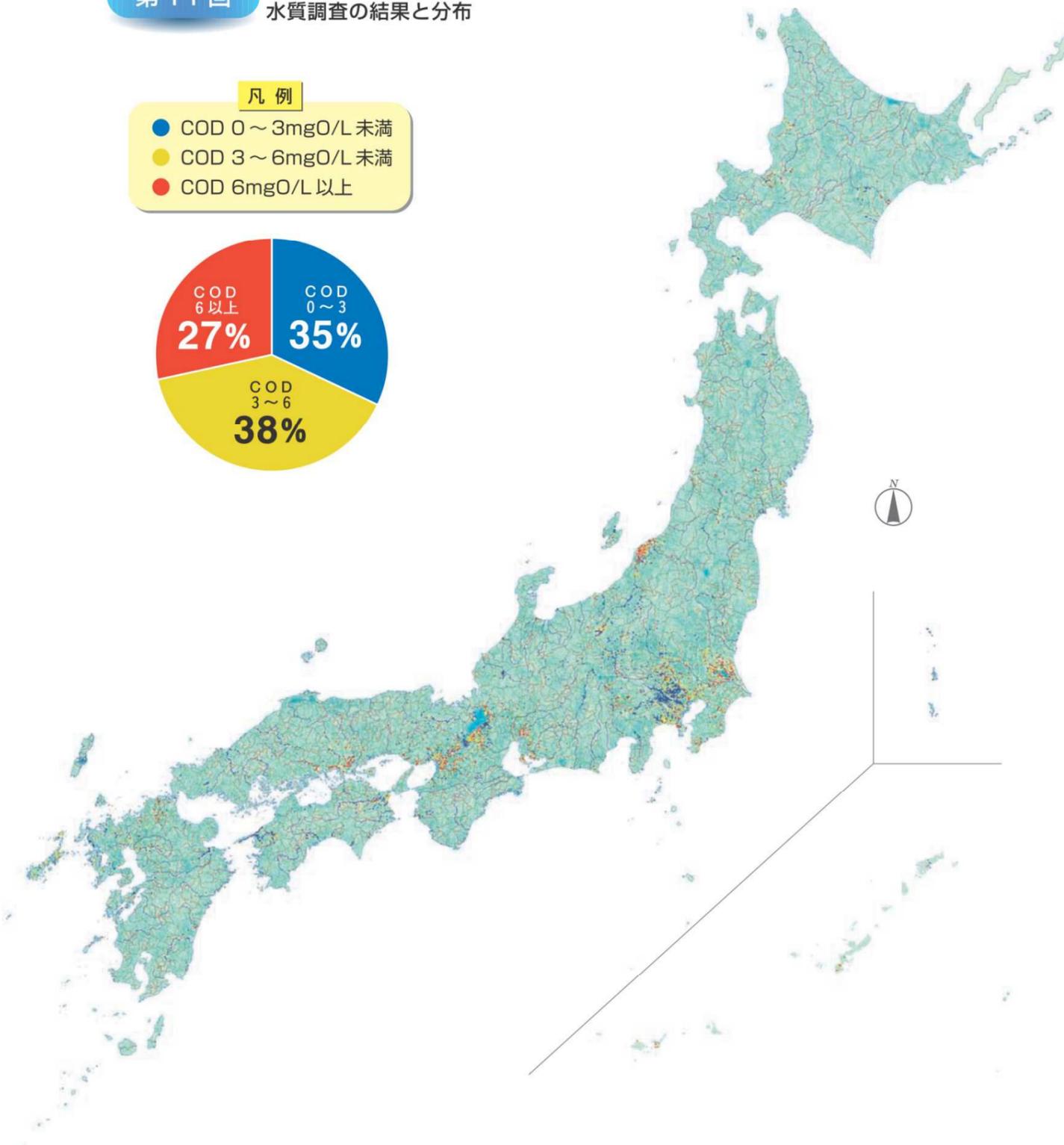
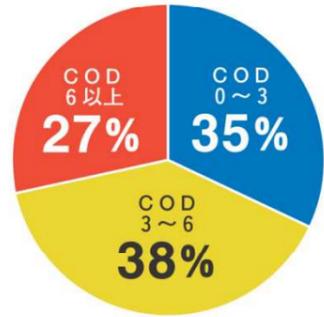
2014全国水環境マップ

第11回

身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



2004全国水環境マップ

第1回

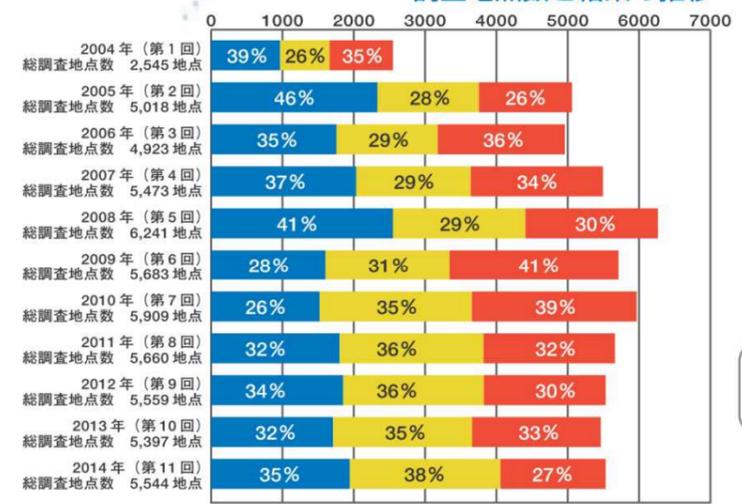
身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

凡例

- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上



調査地点数と結果の推移



- COD 0～3mgO/L 未満
- COD 3～6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

図-54 全国水環境マップ